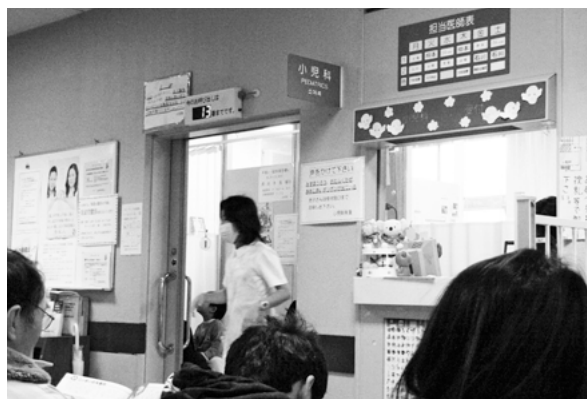


小児科で携帯電話による 予約診療ができないか



小児科の携帯電話による予約制度導入が待たれる市立病院

病院長 現在、小児科の一般外来では予約診療は行っていないが、予約制の導入は患者の利便性のみならず、感染症の多い小児科の特殊性を考えると、一番必要性の高い科であり、最近の母親における携帯電話の利用頻度、利用方法の知識などを勘案すれば、非常に効果の期待できるシステムであると考ええる。

議員 市立病院の予約診療体制はどのようになっているのか。

病院長 オーダリングシステムによる予約診療を一般外来では内科と産婦人科の2科目で行っており、また、内科、産婦人科、小児科、外科の午後の特別診療に予約診療を導入している。

議員 市立病院小児科での携帯電話による予約診療は導入できないか。



ひき こうじ

善、特に西ルート等には不可欠な4台目の導入はどのような予定でいるのか。

市民生活部長 4台目導入に伴う運行経費やルート変更の問題について、運行協定を結んでいる国際興業の担当者との意見交換の場を設け、4台目の導入が経費負担を含め可能か研究していきたい。

議員 戸田市、川口市のコミュニティバスとの相互乗り入れ、乗り換えの充実を図れないか。

市民生活部長 戸田市のコミュニティバスとの乗り換えについては、最寄りの停留所の接点調整など戸田市や国際興業の担当者との意見を交換し、検討している。

また、相互乗り入れについては、今後、川口市、戸田市の担当者とも意見を交換し、調査、研究をしてまいりたいと考えている。

ほかに 「土地開発公社」「防災機能の充実」について質問。

一般質問

平成21年度の 予算編成について

議員 平成21年度予算編成方針はどうか。

市長 国の三位一体改革による地方の財源の減少が続いており、財政見通しは極めて厳しいが、市民の暮らしを守るという市政運営を貫きたい。

議員 歳入見込み額と各課から出された要求総額はどうか。

市長 歳入見込みが195億円に対して各課からの要求総額が208億円なので、今後の予算査定で10億円以上削減しなければならぬ。

議員 新規事業をどのように考えているか。

市長 マニフェストの着実な実現を図りたい。具体的には、後期高齢者医療制度に移行した75歳以上の方々等を対象とする保養施設の宿泊費補助制度や延長保育の拡大、少人数



平成21年度予算で耐震工事が予定されている一中B棟

少人数学級の実施について

議員 歳市独自の少人数学級実施に向けて、現在どのように準備がされているか。

教育長 平成21年の夏頃までに教員の募集要項を作成し、その後各大学に募集要項を配布し、22年1月を目途に市費での教員採用試験を行う。平成22年度よりまず小学校4年生までの35人程度学級を実施



しむら しげる

し、その成果を確認していきたい。

職員採用と非正規職員の待遇改善について

議員 職員の退職数に見合う職員採用を行つべきだ。

総務部長 単純労務職は別に、今年度の退職人数分を来年度採用する考えている。

議員 パート職員の時給は多くの人が830円〜810円で低い。上げるべきだ。月額制の非常勤保育士は月15万6千円、保育園の給食調理員は月12万1千円で、何年勤めても上がらない。経験年数に応じて加算を行つべきだ。

総務部長 賃金は適切だと認識している。また、経験年数による加算の考えはない。

議員 県の最低賃金は平成20年10月から時給が20円上がった。それを考慮して時給を引き上げるべきだ。入間市では勤続が1年増えるごとに約5千円加算している。本市でも検討するよう要望する。

市長の平成21年度予算 編成方針について

議員 どのような新規事業を考えているのか。またマニフェストの実現をどのように図っていくのか。

市長 新規事業については、市民の皆さんから寄せられた要望などを踏まえて検討している最中である。マニフェストの実現については暮らしを守る市政運営を貫くという点から、行政経営戦略プランにある連続値上げ計画をやめるあるいは凍結することについて実行している。

駅前周辺の ネットカフェについて

議員 ネットカフェ利用者に住民票を発行する根拠と条件について伺いたい。

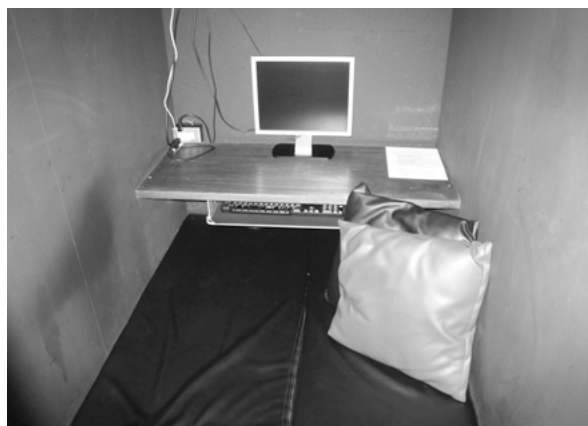
市民生活部長 住所者の認定については、残念ながらあらゆる場合に該当する明確な認定基準はなく、住民基本台帳事務処理要領において、住所の認定に当たっては客観的居住の事実を基礎とし、これに当該居住者の主観的居住意思を総合して決定するとされている。

そこで、非常



みわ かずよし

に難しい判断ではあるが、これらの観点を踏まえて、店舗所有者は利用者が日常生活、そして社会生活を営むための居住の用に供することを容認している。また、利用者は一時的または短期の滞在ではなく、みずからの生活の本拠地として定住する意思を有しているなどの前提で住所として認定することが適当であると判断し、住民登録を許可した次第である。



条件付で住民登録が許可されているネットカフェ（中央1丁目）

あつたか市政を問う

景気対策としての 定額給付金について

議員 本市における給付人数と給付総額はどれくらいになるのか。

総務部長 給付人数は、住民基本台帳に記載されている者、永住外国人あわせて6万9538人であり、総額は約10億3千万円である。

議員 給付の事務手続きと重点検討課題についてどう考えているのか。

総務部長 申請手続きは郵送申請・窓口申請・窓口現金受領方式が示され、事務マニュアルのもと、事務体制を確保し、給付事務全般にわたるスケジュールが課題となる。

議員 年度内給付に向けた所得制限等をしない定額給付金支給の実施についてどう考えているのか。

総務部長 国の基本にそって所得制限を設けず準備を進める予定である。

新たな財源の確保 について

議員 自治体における財源確保



たかはし えつろう

保のために、ホームページ上でのバナー広告や市の封筒、刊行物等への広告導入する考えはないか。

総務部長 バナー広告については、ホームページの全面リニューアルにあわせ、21年度の早い時期に実現できるよう必要の要綱や基準の整理をし、進めていく。その他について

は、調査研究してまいりたい。

エコライフの推進 について

議員 「ペットボトルのキャップで、世界の子どもにワクチンを届けよう」というエコキャップ運動の推進、また希少資源である「レアメタル」のリサイクルについての取り組みについて伺いたい。

市民生活部長 本市では公民館や町会等で市民からの協力により持ち込まれたキャップ



エコキャップ推進運動をしている下蔵公民館

を、再資源化し、そこで得た売却益をもって発展途上国の子どもたちにワクチンが送られている。今後、多くの市の施設においても可能な限りキャップ回収に取り組んでいくよう推進してまいりたい。

また、レアメタルの資源物活用となる「携帯電話リサイクル」「入れ歯リサイクル」等については回収箱設置を検討してまいりたい。

ほかに 地域スポーツ振興について質問。

留守家庭児童指導室の 取り組みと諸問題を問う

【議員】 総合振興計

画基本計画案で、指導体制の強化を図るとなっているが、どのような考えか。

【健康福祉部長】 児童の入室状況に

応じ、児童の多くなる時間帯を見定めながら指導員を常時4人体制で運営するなどし、指導体制を充実している。また、指導員の資質の向上を図る観点から、研修会を実施するなど、一人一人の子ども、保護者の思いを受けとめ支えていけるよう実践している。

【議員】 児童たちに変化がみられ、指導員が対応に苦慮する実態はないか。また、どのように指導支援しているか。

【健康福祉部長】 攻撃的な自他への言葉をあらわす子どもや注意欠陥多動性障害の疑いのある子どももあり、指導員も



いつも見守ってくれてありがとう（南町2丁目付近）

戸惑いを感じている実態がある。このような状況の中、各指導室には教員等の資格を有する者もいるので、これらの子どもたちのかかわり方については、学校との連携のもとに共通認識を持つて対応しているところである。

【議員】 指導員の身分保障はどのようになっているのか。

【健康福祉部長】 指導員の待遇については、パート職員となっており、更新に当たっては、本人の勤務の意向を確認



そめや かすこ

しながら2カ月ごとに更新している。また、各指導員は自己申告によりひと月に働く日数が16日、12日、8日と異なっており、勤務日はそれぞれ希望に沿うように調整し、その中でひと月のローテーションにより勤務しているところである。

【議員】 指導員の希望である指導体制の質向上を願いたい。

子ども110番の家について

【議員】 子どもたちに「子ども110番の家」をどのように説明理解させているのか。

【教育長】 学級指導において子ども110番の家の意義や重要性、緊急時の対応などを子どもたちへ指導している。

また、子ども110番の家の設置者を含めた地域の方々と児童・生徒の交流を図るよう、校長会を通じて検討してまいりたいと考えている。

【ほかに】アウトメディアの推進について質問。

一般質問

歴史民俗資料館分館の 観光活用について

【議員】 「にぎわいのある蔵」を作っていくには観光振興の推進が不可欠であると考えるが、

歴史民俗資料館分館を市内観光の拠点施設として有効活用を図る考えはないか。

【市民生活部長】 元

気な商店街づくり検討委員会でも分館の活用が元氣なまちづくりの有効であり、ぜひ活用していくべきだという意見が多数出ている。

また、分館は市内外の人々が交流をしたり、市の歴史文化の情報を発信できる貴重な地域資源でもあることから、この魅力を観光と市全体の活性化につなげていきたいと考えているところである。

【議員】 市内観光ルートの拠点となれば、商店街での回遊性が格段に高まる。市長は蔵の



観光協会設置が期待される歴史民俗資料館分館

活性化という観点から観光をどのようにとらえているか。

【市長】 観光は蔵の活性化にとって最重要課題であり、大きな柱になると考えており、現になっていると思っている。

中心市街地活性化協議会の設置について

【議員】 新たな蔵市中心市街地活性化基本計画を策定するにあたり、「中心市街地活性化



いけがみ ともやす

協議会」を、早急に設置すべきと考えるがどうか。

【市民生活部長】 現在、関係団体と設置に向けて協議中である。

高齢者の施設福祉の向上について

【議員】 高齢者福祉の核となっている「社会福祉法人寧幸会」の位置付けについて、本市はどのように考えているのか。

【健康福祉部長】 社会福祉法人寧幸会は、2力所の特別養護老人ホームと3力所のサービスセンターを運営する介護保険事業者で、中でも特別養護老人ホームの指定事業者としては市内で唯一となっている。

特に、蔵サンクチュアリと第2蔵サンクチュアリの2つの特別養護老人ホームは介護保険の施設サービスの中で大きなウエートを占めており、これらを運営する寧幸会の果たす役割は大きいと考えている。

北町地区留守家庭児童指導室の施設早期改善を！



施設の増設が待たれる北町地区留守家庭児童指導室

議員 定員40人の北町地区留守家庭児童指導室において、ここ数年間慢性的に入所児童が大幅に定員を超えており、早期の施設改善が必要と思うがどう考えているのか。

健康福祉部長 入室児童の増加に伴い、施設整備が必要になってくることは当然考えられるが、その対応については留守家庭児童指導室全体の運営を視野に入れ、ハード、ソフト両面を考慮し、また、財政状況を踏まえ、関係部署との協議を行っていきたいと考えている。

ジェネリック（後発）医薬品の利用促進について

議員 市立病院及び市内医療機関での利用状況について伺いたい。

健康福祉部長 市立病院における後発医薬品の採用率は、平成20年12月現在において、対象除外品を除いて12・28％となっている。

また、市内医療機関における利用状況は、県などにおいてもその実態は把握されていない状況である。

本市の女性職員の人材活用について



いちのせき かずいち

議員 過去5年間の女性管理職の実態について伺いたい。

総務部長 各年度4月1日現在の状況ですが、平成16年度は管理職136名のうち女性管理職は14名、17年度は131名のうち16名、18年度は135名のうち19名、19年度は131名のうち14名、20年度は119名のうち12名となっている。

議員 女性の参画を加速するため継続して働き続ける環境整備をどう考えているのか。

総務部長 政策決定過程への女性の参画を促進するためには、就労環境の整備も重要な要素の一つであると認識している。

本市においても、従来から国家公務員や他の地方公共団体の動向と合わせ、育児休業や介護休暇などについて制度を整備してきたところであるが、引き続き女性が働きやすい職場環境づくりに努めてまいりたいと考えている。

ほかに 北五公園遊具整備について質問。

あつたか市政を問う

市内中小業者へ優先的に仕事の発注をできないか

議員 中小業者資金繰り対策としてのセーフティネット保証の本市における対応はどうなっているのか。

総務部長 10月31日以降（約40日間）で、72件認定した。各事業者は厳しい経営環境にあると推測している。

議員 市内中小事業者の仕事支援としての小規模修理・修繕契約登録者の状況はどうなっているのか。

総務部長 登録者は07年度で9件。修繕契約実績で、契約係担当分が8件、契約金額186万円。各課担当分が145件、809万円となっている。

議員 大幅に増えているが、これは金額の上限を50万円に上げたことと、財政係から各課への対策をとった努力がうかがえると思うがどうか。

総務部長 登録は随時受け付けている。各課から地域の業者への声かけもしている。

労働相談と労働法などの周知について



かじわら ひであき

議員 雇用情勢が厳しく、体力のある大企業の労働者解雇など許されない。市の労働相談の充実を求めるがどうか。

市民生活部長 6月から年金・労働相談を開設し、2件の労働相談があった。

議員 労働法の知識を市民に広げ、戸田市の労働学院等のPRをすべきと思うがどうか。

市民生活部長 市民が参加しやすい近隣のセミナーは案内の掲示等をしている。

就学援助金制度のPRを

議員 就学援助金の認定数の推移はどうか。

教育部長 小学校で、06年度



仲よく手をつなぎ下校する一年生（北小付近）

326人、07年度292人、08年度278人となっている。
議員 暮らしが厳しくなっているのに受給数が減っているのは、周知が弱まっているからではないか。07年度は、近隣市と比べ受給率も低い（川口13.5％、鳩ヶ谷16.2％、戸田10.9％、蕨8.7％）ので、必要な家庭が受けていない実態があると思うがどうか。
教育部長 分かりやすい周知の方法を研究したい。
教育長 議員の指摘は理解できるが、所得申告がないため認定にいたらない実態はあるかもしれない。各学校、担任からも働きかけたい。

精神障害者支援の 早期実施を！

議員 精神保健福祉手帳の交付時に必要とする診断書料金を市が一部負担をする考えはないか。

健康福祉部長 精神保健福祉手帳は、2年に1回の交付申請時において精神科医師の診断書を添付して更新することになっており、この診断書は医療機関により料金が違い、数千円から1万円を超えるところもある。そのため、診断書料金が負担となっている方もいると聞いている。

診断書料の助成については、市としても既に身体障害者手帳の交付に際しては助成制度を設けていることもあり、精神障害者の方の経済的負担の軽減を図る観点から、その必要性については十分認識しているが、市の財政負担にも配慮しながら引き続き検討していきたい。

薬物乱用防止教育 について

議員 現在、市内の小・中学

校ではどのように薬物乱用防止教育に取り組んでいるのか。

教育部長 市内すべての小・中学校で薬物乱用防止教室を開催し、警察官及び埼玉県警察本部から招聘した講師や薬物乱用防止指導員を講師として、専門的な立場から児童・生徒に薬物乱用により死亡することもあることや精神や身体への障害により、本来持っている人間らしさを失ってしまうという恐ろしさを知らせることで、薬物の乱用は絶対

にしてはいけないということを指導している。

小・中学校の校庭の 芝生化について

議員 校庭の芝生化について必要性和課題を伺いたい。

教育部長 校庭の芝生化の効果には、ヒートアイランド対策や緑化の推進、砂じん対策、また、土の校庭より快適であることから外で遊ぶ子どもが増加が予測され、さらに環境教育における教材ともなり、さまざまな利点がある

と認識している。

課題は、多額な工事費のほか、施行後における水道代、肥料代などの維持管理費及び芝刈りや除草などの維持管理作業が挙げられる。

教育委員会としては、校庭の芝生化について近隣市の状況も含め、今後調査研究をしてまいりたい。



おおishi こういち

一般質問

頼高市長の市政に臨む 基本的理念と目標を問う

議員 市長が目指す市政の基本的理念と目標はどう考えているのか。

市長 小さな市であることを

いは土地開発公社の経営健全化等どれも直面すべき大きな課題だと思っている。

また、これらに共通するのは莫大な財政負担を伴う事業であり、その大幅な見直しが必要であり、市民の皆さんと一緒に考え合意を得ながら新しい方向のまちづくりをしていきたいと思っている。

議員 新年度の予算規模が増額となっているが大丈夫なのか。

市長 市政検証委員会の中で明らかにした課題はどれも、第一に解決すべき課題と考えており、大規模な都市計画事業の見直しであるとか、積み残しになってきた公共施設の改修、維持管理の問題であるとか、ある

保育園の待機児童 について

総務部長 補助金や、目的別につくっている各種の基金等を活用しながら全体の予算立て、執行に極力大きな影響が及ばないように財政運営を続けてまいりたい。

議員 保育園の待機児童解消に向けた対応と、今後の市の考えはどうなっているのか。

健康福祉部長 各保育園では低年齢児枠を中心に定員増を図り、それに必要な保育士を配置して、定員を超えた受け入れの拡大を図っている。

今後の対応については、利用者の意向や生活実態等を調査し、ニーズの把握、分析を行う予定なので、これらを踏まえながら計画的に子育て支援策を図ってまいりたい。



寒風の中、元気に遊ぶ園児たち（さくら保育園）



いまい りょうすけ

総合振興計画基本計画の見直しについて



すずき さとし

議員 見直し作業はどのように行われたのか。

総務部長 現行の施策体系をベースに、諸情勢の変化に応じた見直しを行うことを基本に、市民懇談会や市長タウンミーティングなど市民参加による見直しとした。

議員 厳しい社会・経済状況はどのように反映させたか。

総務部長 実効性ある計画策定に努めたが、財政見直しは厳しい。優先度や実施年度に留意し、行財政改革による財源確保に努める。

議員 優先度という点では安全性・緊急性などに加え、暮らしにかかわる深刻な事態が広がる中で、市民生活や地域の営業を守る施策も優先に加えるよう要望する。駅前再開発については、その是非や内容の検討を続けながらも、社会状況を考慮し、当面「凍結」の方針を採るべきである。

議員 同調査については教育の激化と序列化が持ち込まれるなどの問題点がある。本市は同調査への参加を止めるべき。少なくとも結果を公表すべきではないと思うがどうか。

教育長 意見があるのは承知しているが、実態を明らかにし重点的な指導内容を示すうえで重要。教育活動改善の一つの資料として活用したい。ただし、公表については考えていない。

議員 そうした活用であれば、全員を対象とした毎年の調査は必要ない。現在の方式は、過度の競争と序列化を進めるものであり、改めて参加しないことを求める。



登録要件の緩和が検討される西口第1駐車場

議員 蕨駅西口第1駐車場はより多くの登録が可能であり、登録基準の緩和を求めるがどうか。

市民生活部長 次回登録に向け、自転車対策審議会にも諮って検討する。

議員 店舗などの敷地内に無断で入ったの駐輪も問題となっている。商店街との協議など対策を求める。

ほかに 蕨駅へのエレベーター設置について質問。

まちづくり指導要綱の見直しについて



やまわき のりこ

議員 ワンルーム形式共同住宅から「寮」を除くことにより寮には管理人の設置義務が生じず、問題が発生していることから寮を除く必要はないと考えるがどうか。

都市整備部長 寮の建築形態や管理体制、入居者の生活スタイルの変化も否めないところであるので、今後、要綱上の定義については改正の必要性も含め検討していきたい。

議員 指導要綱の目的にそった事業者への指導を強く要望したいがどうか。

市長 指導していく。

保育行政の充実を

議員 4・5歳児に限らず全ての園児について、育児休暇中の上の子の保育は家庭の状況によって継続するかどうか相談に応じる考えはないか。

健康福祉部長 保護者から相談を受けた場合には十分な話し合いを行った上で慎重に対応している。

議員 病後児保育の実施を検討する考えはないか。

健康福祉部長 市立病院や民間の医療機関で実施できないか検討しているが、現状での実施は難しい。引き続き検討する。

議員 土曜日は現在14時までとなっているが、平日どおりの開設がどうしても必要となってきたいるが実施する考えはどうか。

健康福祉部長 課題が多く、職員配置による経費の増加に伴い、新たな財源が必要となるので検討していきたい。

議員 新年度の留守家庭児童指導室の申し込み状況はどうか。また、待機児童を出さないよう緊急の対策が必要だと考えるがどうか。

健康福祉部長 南町地区と北町地区で70人を超えると想定される。南町地区では交流プラザさくららの2階読書室と併

用して最大限の受け入れ体制を整えていきたい。北町地区では現状での運営は困難になることから、関係部署との協議を行っていきたい。

ほかに 「子どもの施設安全全国一斉総点検」「耐震改修促進計画の策定」について質問。



指導員の読み聞かせに熱中する児童（交流プラザさくら）

あつたか市政を問う

中小企業の資金繰りを支援する保証制度について



まつもと とおる

議員 中小企業の資金繰りを支援する新たな緊急保証制度として、原材料価格高騰対応等緊急保証制度が始まったが、本市における認定事務の現状と対応状況について伺いたい。

市民生活部長

まず商工会議所より会員にこの制度がある旨の周知徹底をし、また、広報紙による掲載やインターネット上でモアアクセスできるように周知を、さらに、各商店街についてもこの制度利用について、折あるごとに話をしている。

市の対応としては、認定申請を受けたら早急に審査し、可能な限り、翌日には認定できるように迅速な処理に努めているところである。

議員 景気が非常に悪化しており、特に原材料の価格高騰で、仕入れの価格等にも当然はね返ってきている。そうした中で、このような緊急保証制度の周知徹底を図るために広報やホームページ等に、利

用案内の掲載をしたらどうか。



医療サービスの拡充を図る市立病院

議員 景気悪化の中で、大変な思いで来られた方に対して配慮ある事務作業、受け付け、認定をしていただきたい。

今後の市立病院経営の方向性はどうか

議員 藤市立病院経営改革プラン懇談会から提言された方向性も含めた上での病院経営

について伺いたい。
病院長 懇談会からの提言を踏まえて、21年3月をめどに中期的な計画として位置づける経営改革プラン本会議と行動計画の策定作業に取り組んでいる。職員が丸となって当病院の経営改革を確実に実行し、この苦境を乗り越えていきたいと考えている。

一般質問

あつたか市政の持続可能性を問う

議員 市財政の歳入・歳出のバランスをどのように考えているのか。

市長 戦略プランに予定されていた値上げ計画は21年度まではやめる。その後、どう対応していくかについては、行政として経費削減をし、ぎりぎりの努力をし尽くすかどうかだと考えている。

今、一番大きな課題である都市計画事業の見直しも検討している。その中で、例えば現サービスを維持できなくなってくるのか、あるいは市民の要望に答えられなくなってくる段階で、国保税のあり方も含めて検討していく時期がくるのではないかと考えている。

私は市政に責任を負っており、きちつと継続して運営できるような見極めを適切な時期に検討していきたいと思っている。

本市の人事施策について

議員 市の職員数と業務量の関係がアンバランスではないか。

市長 現状については、職員はぎりぎり頑張っていると認識している。しかし、仕事への集中度、仕事の能率、あるいは課によって忙しい時期がずれている仕事の連携のあり方であるとか、もう一段の努力を求めている。

それらを通じて、単に仕事を従前どおりやって時間外が増えるとか、あるいは、その部分を非常勤が補助するというのではなく、時間内に今の限られた体制の中で市民の期待にこたえるようなスキルアップも図っていくべき。そういう研修も含めて、対応していきたいと思っている。

市長の考える住環境政策について

議員 アパート、マンション等の集合住宅が建設される際に、事業者にとどのような指導を行うのか。



おおしま こういち



JR 単身者寮建設が予定されている南町2丁目

行政視察報告

総務常任委員会

- 日 程
平成21年2月9日～10日
- 視 察 地
岩手県一関市
岩手県北上市
- 調査内容
「議会基本条例」
「交流センター運営事業」
- 調査報告

岩手県一関市を訪れ「議会基本条例」を制定した経過、内容、条例施行後の効果や変更等について調査研修をしました。翌日には北上市を訪れ「公民館の交流センターへの移行」について研修しました。各地区市民の管理運営による交流センターが中心となって、企画運営や、まちおこし事業に大きな成果が出ており、本市でも検討に値する事業でありました。



環境福祉経済常任委員会

- 日 程
平成21年1月27日～28日
- 視 察 地
大阪府吹田市
大阪府茨木市
- 調査内容
「子育て支援事業」
「住宅用太陽光発電システム設置補助制度」
- 調査報告

吹田市を訪れ、子育て支援について視察をしました。公立保育園全園に看護師配置、産休明け保育の実施や地域担当保育士が派遣されるなど、手厚い保育が行われていました。



翌日には茨木市を訪れ、「住宅用太陽光発電システム設置事業補助制度」について視察をしました。平成16年度開始以降5年間で316件の補助利用があったとのことでした。

教育まちづくり常任委員会

- 日 程
平成21年2月3日～4日
- 視 察 地
滋賀県彦根市
福井県越前市
- 調査内容
「四番町スクエアのまちづくり事業」
「スクールランチ」
- 調査報告

彦根市を訪れ四番町スクエアのまちづくり事業について視察しました。地域主導によるまちづくり活動は、確実に周辺地域に波及していました。翌日には越前市立武生第三中学校のITを活用した選択性スクールランチについて視察をしました。パソコンで好きな給食メニューの予約ができるなど、最先端の学校給食の在り方を学ぶことができました。



平成20年12月定例会議案等に対する各会派の賛否結果

12月	議 案 名	新生会	共産党	公明党	政風会	民主ク	結果
	「＜協同労働の協同組合法（仮称）＞の速やかな制定を求める意見書」提出を求める請願	○	○	○	○	○	採択
	建設不況打開と資材高騰への緊急対策を求める請願書	○	○	×	○	○	採択
	消費税の増税政策に反対を求める陳情	×	○	×	×	×	不採択
	議会運営において、法律によらずなされている事柄の根拠となる、議会運営委員会等により決定されたいわゆる「申し合わせ事項」について、市民が見られるように公開することを求める陳情	×	×	×	×	×	不採択
	蕨市駅西口化粧室設置及び管理条例	○	○	○	○	○	可決
	蕨市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
	蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
	平成20年度蕨市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	可決
	平成20年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	可決
	教育委員会委員の任命の同意について	○	○	○	○	○	同意
	財産の取得について（はしご付消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	可決
	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	可決
	監査委員の選任の同意について	○	退席	○	○	○	同意
	（仮称）協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
	安心して医療を受けられる体制の拡充に関する意見書	○	○	○	○	○	可決
	中小企業対策の充実・強化に関する意見書	○	○	○	○	○	可決
	一関和一議員に対する出处進退をもとめる決議	○	退席	○	○	退席	可決

平成21年1月臨時会議案等に対する各会派の賛否結果

1月	議 案 名	新生会	共産党	公明党	政風会	民主ク	結果
	監査委員の選任の同意について	○	○	○	○	○	同意

※お詫びと訂正

平成20年12月発行号の9月定例会議案等に対する各会派の賛否結果に下記のとおり誤りがありましたので、深くお詫びして訂正致します。

記

議案名 平成20年度蕨市一般会計補正予算（第1号） 民主クラブ欄 誤○→正×



昭和34年当時の蕨駅西口広場



昭和34年4月1日 埼玉県内で23番目に蕨市が誕生



小・中学生による子ども議会



50年前へ タイムスリップ

50年前に市制が施行された当時の懐かしい写真をご紹介します。

急激な人口の増加と激しい都市化の波を受けながら、蕨市の発展のために大きく使命を果たしてこられた先輩議員です。



昭和35年当時の本会議・右奥列の中央は第2代議長高橋真助氏

編集後記

ある市民団体が、全国の市・区議会の公開度なるものを順位付けし、公開をしている。この団体が9月に行った調査にて、蕨市議会が調査対象となった全国806区市議会（政令市含む）のうち、第8位に輝いた。委員会を傍聴できるか、議事録を閲覧できるか等が順位の基準となっているとのことである。昨年より、わらび市議会だよりでも一般質問の質問者と質問内容を掲載することとした。ひよっとしたらこのことも評価されたのでは？と自画自賛も込め思うところだ。

議会の慣行というものには、時として世間の常識と異なる時がある。市民の代表なのに、誰がどの様な発言をしたのか分からないというのも、よく考えればおかしい話ではなかったか。常識というのは案外疑ってみるものなのかもしれない。